

(12) アダプトプログラム参加団体数



● **アウトカム指標の位置づけ**

アダプトプログラム^{※27)}は、地域住民、地元企業、自治体及び道路管理者等が協力して、道路の清掃美化活動を行い、地域住民の方々に道路に対する愛着を深めていただくものです。地域の実情にあった道路管理を行うためには、このような市民参画がかかせません。道路行政の改革の一つとして推進している住民参加を表す指標として採用しました。



● **現況把握**

平成15年においては、広島県内で151の団体がアダプトプログラムに参加しており、地域道路の清掃、美化活動を行っています。

図12-1 アダプトプログラム参加団体とその位置

	H15まで
広島県管理道路	124団体
国土交通省	27団体

- はなみずきの会 (一般国道31号)
- 青河福寿会 (一般国道54号)
- 国際ソロプチミストローズ福山 (一般国道2号)
- たけのこ会 (南方竹原線)

私たちにとって重要な公共空間である道路、公園、河川等の公共施設の美化及び保全のため、皆さんに道路等の里親となっいただき、住民参加により管理する制度をアダプト・プログラム(里親制度)といいます。

● **施策の選定**

アダプトプログラムは、地域住民、企業、自治体及び道路管理者等が協力して、道路の清掃美化活動を行う制度で、広島県が管理する道路については「マイロードシステム」、国が管理する道路については「ボランティアロード」とそれぞれ呼んでいます。広島県及び国土交通省では、それぞれが管理する道路について、道路の清掃・美化活動をしていただく地域住民及び地元企業等を募集し、参加団体数を増やしていきます。

● **平成16年度の取り組み**

参加団体数・・・9団体 (広島県管理8団体、国土交通省1団体)